矢追氏、春の叙勲で勲五等

大阪故鉄株式会社の矢追欣爾社長が平成元年春の叙勲で勲五等瑞宝章の栄に輝やいた。昭和五十七年には中小企業振興の功労から藍綬褒章、五十二年には大阪府産業功労知事表彰を受けた。戦前戦後を通じて鉄くず業に専念、戦後はとくに鉄屑問屋協会、鉄屑工業会など業界活動に積極的に参加し公私にわたり主要役職を歴任、その重責を果した。五十九年以降は日本鉄屑工業会副会長、関西支部長として業界発展に尽力、その勤勉さと誠実さがたかくかわれ今回の受章となった。同氏の戦前戦後の足跡をたずねてみた。

戦前から、この道一筋55年

――大正七年、大阪の肥後橋、今の朝日新聞の近くで生れました。父親はバナナの貿易商でしたが、生まれて間もなく当時全国に流行った感冒で死に別れました。

育ったのは母親の実家のある徳島市。高等小学校を卒業し、青雲の志を抱いて大阪へ出てきた。最初は建築金物の店でしたが、丁稚の躾が厳しくて半年で逃げだし、鉄屋さんで成功した人がいるとの話で改めて入ったのがこの業界でお世話になるきっかけでした。

――合資会社浪華商会といい私が入った昭和九年当時で月五百トン前後を扱う、まず中堅の上のクラスでした。店は神戸の川崎造船所の平炉などへ納めていました。

陸は馬力や肩曳きですが、大口は川舟。私も団平船や猪牙船で集めて回り、毎日のように荷役業者の立会いや、積み込みに追われました。

――一袋二百キロのカマスを背に乗せて波のまにまに揺れる歩みを渡る。ドボーンと川の中へ落ちたこともありました。ですから当時は筋骨も隆々として、何んとウデ力の強い小僧さんやなと感心もされましたね。

――昭和十四年に現役兵として野砲隊に入隊、中支に行きましたが太平洋戦争の始まる十六年十一月に除隊、浪華商会に復帰しました。その前の十三年に鉄屑統制会社が設立され、大阪府金属回収団ができ、指定商から誰か一人派遣せよということで私が店を代表して入団しました。

――丁稚時代に夜学ですが大阪市立商業青年学校へ四年間通っていましたから経理も簿記も一通りは出来る。軍隊でも経理担当でした。そういうことも白矢の立った理由でしょう。

昭和十七年、統制会社が組織がえとなり、指定商と回収団を一緒にして関西金属回収株式会社をつくりました。同時に、個人の営業が停止されたことから、私も出向ではなく正式に金属回収統制会社に入社。回収団生え抜きとして産業設備営団関係の遊休設備の非常回収の仕事を続けました。

途中、回収量が減ったことから海軍関係の軍需工場の返り材を扱う一般回収へ移り、業務部主任を務めました。この間一貫して本社勤務を続けました。

――この金属回収統制令が廃止され会社解散が決まったのが二十年十月残務整理を了え退社したのが翌年の二月でした。

とにかくインフレがひどく会社の給料だけではものの三日も食えない、という状態でした。退社して矢追商店として独立しましたが、そりゃあ悲惨でしたね。

母親もかかえていますし、もうあとには引けない。鶴橋の闇市で中古の自転車を買い、まだ一面焼け野原の工場街を鉄はありませんかと走り回ったものです。

ところが、集めても売るところがない。大手高炉は賠償問題などで見通しが立たず買うどころではない。それを何度も頼みこみ、ようやく了解をとりつけたのが二十一年六月の頃。これが戦後、メーカーさんと取引をしたはじめでした。

鉄くず業界発展に寄与

――その後はメーカーさんとの取引が広がり扱い量も増えるなかで戦後開いた桜川工場も手狭間となったことから、三十七年には津守、四十一年には深江と工場を増設。四十六年には津守を集約して住之江の平林に本社工場を構えました。

また、メーカーさんとの取引も戦後の住友金属さんに続き、三十二年頃から住友電工さん、三十六年は火入れと同時に臨港製鉄さんの指定問屋とさせて戴きました。

――そうですね。戦後で一番印象に残ったのは鉄屑統制違反事件です。

金属統制は二十年に廃止されましたが替って物価統制令がでてマル公価格の取引しか認められなくなりました。二十六年二月のマル公が一万二千円。実勢価格は倍の二万四千～五千円でした。

まず、メーカーさんが摘発を受け、私も東警察で取調べられ、新聞にもデカデカと載りまし

検察庁にも書類を送られました。が、鉄屑というものは需給によって動く商品であるという特殊性を鉄鋼連盟など業界全体が訴えたということもあったのでしょうか、半年ほどして結局は不起訴。刑事事件にもなりませんでした。

――業界活動でいえば五十年の鉄屑工業会設立にあたって業者側の出資出捐金をどう割当、理解を得るかとの苦労も忘れられませんね。

国は鉄屑工業会設立にあたって需給による乱高下を収めるため工業会とともに回収鉄源促進協会と備蓄協会をセットにして国も金を出すが業者も負担せよと求めました。

関西支部の出資・出捐負担金額が三年分割で六千二百六十一万円です。これを専業会員百四十七社にどう協力して貰うか。この調整を委されたのが私で、当時、矢追さん、出資の話ならアンタとは会いとうもないと言われたものです。

色々とデータは揃えましたが理屈ではダメで、最後はこの業界で親も子も大きくなってきたのだから今度は孫子の為に頼む、と情に訴え会合を重ねましたね。

――振返って今思うことは、鉄くず業界は社会に大きく貢献する産業になったということです。ギロチンが普及して製鋼歩留りが飛躍的に伸びました。この歩留り向上に業者の果した役割も大きい。また廃車や廃家電品など本来、社会が負担しなければならない廃棄物も処理し、しかも素材として還元させている。この存在は社会にとって、実に大きなメリットがあったな、ということです。

矢追欣爾氏の略歴

大正7年	9月15日大阪市西区江戸堀に生まれる
昭和9年	4月合資会社浪華商会に入社 同時に大阪市立西区商業青年学校（定時4年制）へ入学（昭和12年卒業）
昭和14年	現役兵として入隊、中支派遣（16年満期除隊）
昭和16年	関西金属回収団（浪華商会から出向）で金属非常回収に従事
昭和17年	金属回収統制㈱へ入社、業務部主任
昭和21年	製鋼原料商・矢追商店設立
昭和27年	大阪故鉄㈱として法人に改組
昭和33年	関西鉄屑問屋協会（Aカル）理事 （同年以降、業界理事、副会長歴任）
昭和43年	第2回日本商工殿堂表彰大会、総裁賞
昭和52年	大阪府産業功労知事表彰
昭和57年	藍綬褒章（中小企業振興功労）
昭和59年	日本鉄屑工業会副会長　関西支部長
昭和61年	回収鉄屑、利用促進協会副会長
平成元年	春の叙勲で勲五等瑞宝章を受ける

暑中お見舞い申し上げます

1989年 盛夏

スクラップ・伸鉄材・中古鋼材・一般鋼材
新日本製鐵・船橋製鋼・大三製鋼・中央圧延
伊藤製鉄所・東部大和電機製鋼・三菱製鋼
日本冶金工業

産業振興 東京営業所
取締役所長 小林弘
市川スクラップセンター 千葉県市川市高谷新町一〇番七
電話〇四七三(28)一七一一
FAX〇四七三(28)一七一六
加工製品工場 千葉県市川市千鳥町五番地十
電話〇四七三(95)一一六一
小名浜出張所 いわき市小名浜字中原六ー八
電話いわき〇二四六(54)三五四五(代表)

東京製鐵直納
三菱製鋼・伊藤製鉄所・大三製鋼 指定納入
製鋼原料・一般鋼材・発生品
株式会社 尾関商店
取締役社長 尾関精一
本社 東京都江東区亀戸二ノ二ノ五
電話(683)四五七一番(代表)
北九州出張所 北九州市若松区大字二島四三六ー七
電話〇九三(701)一一八一番

黒田興業株式会社
代表取締役 黒田悦正
本社 東京都墨田区両国4ー37ー6
電話03(631)5145(代)
FAX03(631)5140番
川崎支店 川崎市川崎区鋼管通り5―6―1
電話044(366)3111番(代)
太田営業所 群馬県太田市古戸字原1244
電話0276(38)0570番(代)
小金井連絡所 小金井市貫井南町4―6―25
ムラコシコーポ5―202
電話0423(86)1058番(代)

浦安工場大型ギロチン稼動
清水鋼鉄株式会社
代表取締役 清水範子
本社 東京都墨田区亀沢三ー二六ー五
電話〇三(625)二〇四一番(代表)
浦安工場 千葉県浦安市港五四
電話〇四七三(51)二一一一番(代表)
苫小牧製鋼所・宇都宮製作所・浦安倉庫

製鋼原料
ギロチン・プレス加工
株式会社 木村商店
代表取締役 木村博行
本社 東京都葛飾区細田二ノ六ノ六
電話(697)七七三一～三番
倉庫 東京都葛飾区高砂一ノ二ノ三
電話(694)五三三八番

製鋼原料、鋳物用鋼屑
その他輸出入、国内販売
株式会社 トランス・ウァールド・インダストリー
取締役会長 渡辺良吉
取締役社長 渡辺紀久男
本社 東京都中央区京橋一ノ十六ノ五
電話(567)〇六四三・(567)七三七一
相模原出張所 神奈川県相模原市東淵野辺四ー一ー二七
電話〇四二七(54)〇二〇六
羽村出張所 東京都西多摩郡羽村町緑ケ丘三ー一ー一 日野自動車工業内
電話〇四二五(55)一〇二一
群馬出張所 群馬県佐波郡境町大字伊与久三一一五 伊勢崎佐波第一工業団地内
電話〇二七〇(76)三五四九
川島出張所 埼玉県比企郡川島町八幡六ー一三 三井精機工業内
電話〇四九二(97)二七三八

千代田鋼鉄工業・伊藤製鉄所
石原製鋼所・三和製鋼 納入
製鉄原料・トラックスケール・リフマグ
製鉄機械・一般鋼材販売・スクラップ処理設備
高陽産業株式会社
取締役社長 山口信
本社 東京都千代田区丸の内一丁目四番地三号
電話(215)二三一一(大代表)
支店 大阪・営業所 札幌・福岡・名古屋・八戸

鉄葉会（川崎製鉄株式会社指定問屋）（順不同）

千葉製鉄所鉄屑納入

伊藤忠商事株式会社
兼松江商株式会社
川鉄商事株式会社
株式会社啓愛社
共栄株式会社
丸紅株式会社
三菱商事株式会社
三井物産株式会社
ニチメン株式会社
日商岩井株式会社
野村貿易株式会社
株式会社徳栄
株式会社トーメン